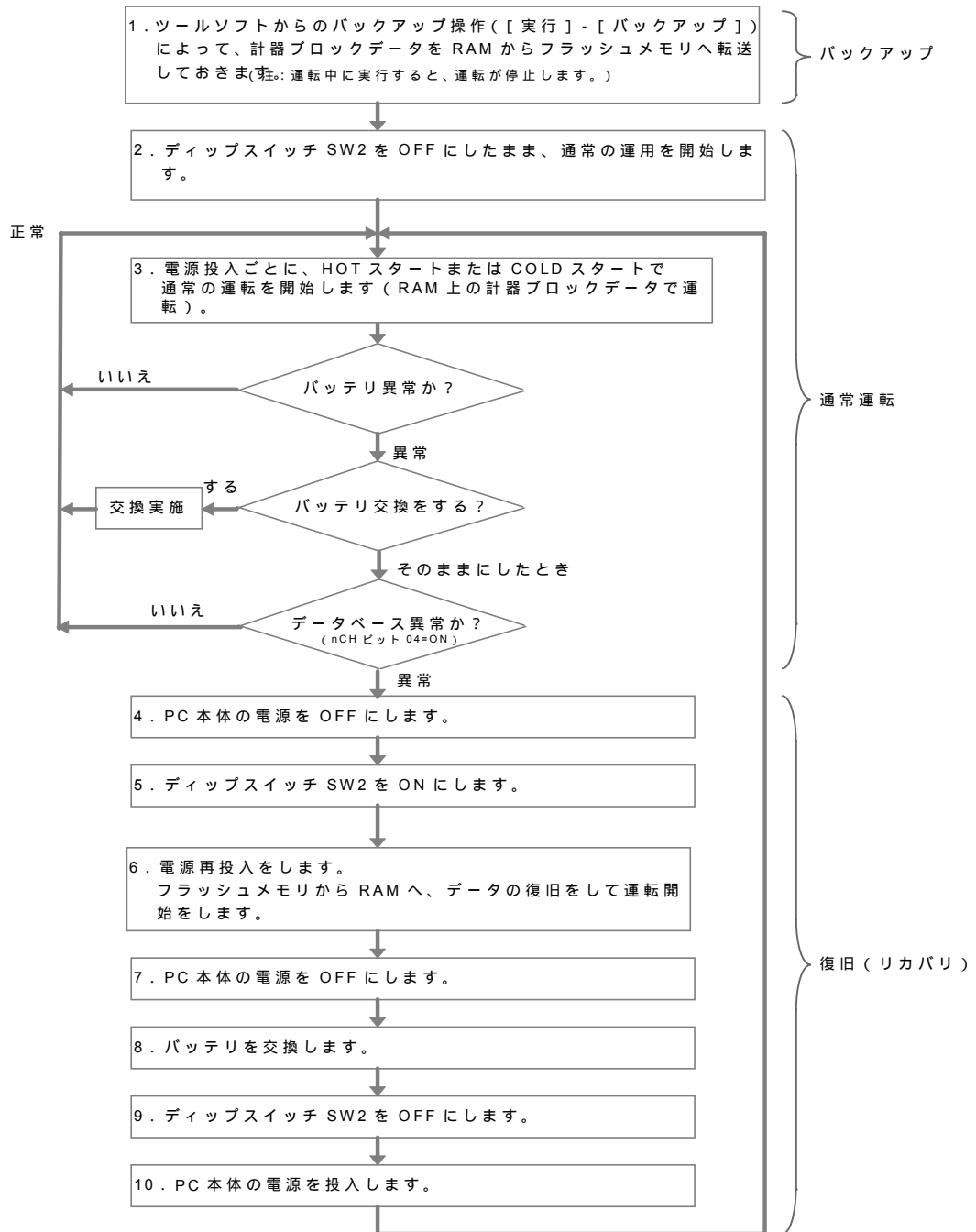


2) バッテリ異常時のための、バックアップ/リカバリ操作について

バッテリー異常時のために、あらかじめ計器ブロックデータをフラッシュメモリへバックアップをしておき、バッテリー異常が発生したときに、バックアップしておいた計器ブロックデータをRAMにリカバリして運転したい場合、以下の方法によります。

基本手順：



バッテリーの交換方法

ループコントロールユニットの以下のデータは、内蔵バッテリーによってバックアップされています。

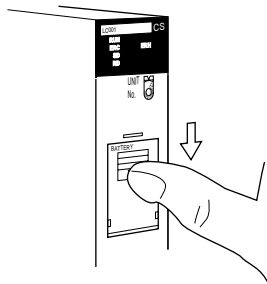
- ・計器ブロックデータ
- ・異常履歴格納データ

お願い ERC LED が点滅を開始してから、無通電での積算時間が 120 時間後に、バッテリーが切れ、バックアップしているループコントロールユニット内の上記データが消失しますので、ご注意ください。

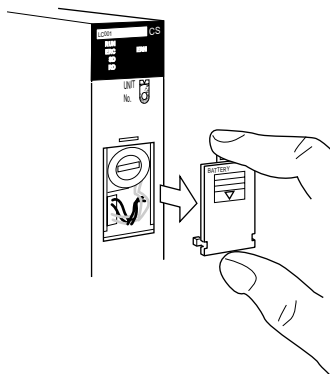
バッテリーの接続を確認し、正常なら、バッテリーを以下の手順で交換してください。

お願い 以下のバッテリー交換作業は、通電中でも行うことができます。ただし、その場合は、必ず接地された金属に触るなどをして、人体の静電気を放電させてから、以下の交換作業を行ってください。

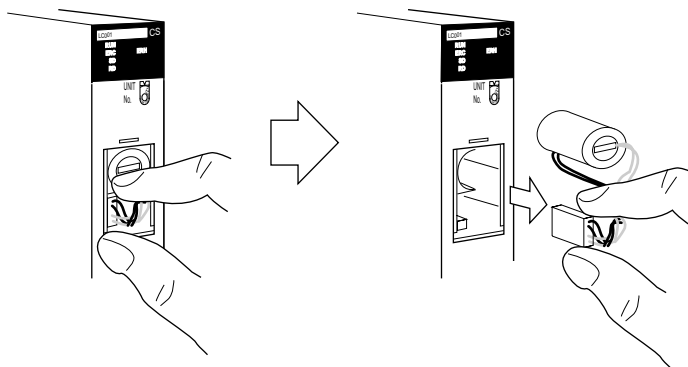
- 1 ループコントロールユニット前面のバッテリー収納部のカバーを、下に引き下げます。



- 2 バッテリー収納部のカバーを、取りはずします。



- 3 バッテリーをコネクタごと引き抜きます。



- 4 新しいバッテリーと交換してください。交換は5分以内に行ってください。
バッテリーホルダから抜き取る時は、ケーブルがホルダに引っかからないようにしてから抜き取ってください。
- 5 手順1~4の逆の作業で、新しいバッテリーを取り付けてください。
- 6 バッテリー収納部のカバーを取り付けてください。

お願い

データベース異常(システム共通ブロックのITEM094がFFFF)が発生した場合(割付リレーエリア nCH ビット 04 が ON のとき)、バッテリー交換後、ツールソフトを使用して、メモリ(RAM)を初期化(オールクリア)、またはフラッシュメモリからRAMへのリカバリ(SW2をONにして、ツールソフトからの操作、または電源再投入)をすることが必要です。初期化またはリカバリを行わない場合、システム共通ブロック(形式000)以外のすべての計器ブロックに対して、ツールソフト、モニタソフト、またはFINSコマンドによってアクセス(読み書き)することはできません。

7

交換用バッテリー

名称：バッテリーセット 形式：形 C200H-BAT09

バッテリー寿命と交換時期

バッテリー寿命：

バッテリーの有効期間(最大寿命時間)は、ループコントロールユニットへの通電、無通電の時間、およびディップスイッチ SW2=ON によるバッテリーレス運転の時間によらず、周囲温度 25 の条件で5年です。周囲温度が高いと、寿命は短くなります。

交換時期：

ディップスイッチ SW2 が OFF の場合、内蔵バッテリーの未接続または電圧低下時に、ループコントロールユニット前面の ERC LED が点滅を開始します。前面の ERC LED が点滅(赤)してから、5日以内に、ループコントロールユニットを交換してください。なお、前面の ERC LED が点滅(赤)すると、システム共通ブロック(形式000)のITEM095がONとなります。同時に、異常履歴コード 0330 が、ループコントロールユニット内に格納されます。

お願い

故障発生時、すみやかな修復作業を行うために、できるだけ予備のループコントロールユニット、バッテリーを用意してください。